

「秦野市における交通環境学習の取組みについて」

秦野市都市部公共交通推進課

秦野市TDM施策の一つである「TDM教育」は、小学5年生を対象とした交通環境学習として平成17年度から実施しており、若年時からの環境認識を向上させることによる将来的な効果と、子供を通じた大人への周知・啓発を着眼点に、毎年3～4の市内小学校において、専門の講師を招いて「かしこい車の使い方」の授業を実施し、平成21年度までに市内13校すべての小学校でTDM教育を実施しました。また、平成22年度以降は、各小学校が自主的にTDM教育に取り組めるよう、TDM教育に精通した学識者を講師として招き、教育委員会の協力を得て、教師を対象とした「TDM教育研修会」を開催し、模擬授業等を実施しています。

授業内容は、まず体育館等においてプロジェクター等を用いた座学を行い、児童へのクイズや質問によるアプローチをしながら、車を多く使うことに対する問題点について、環境や健康などの面から学びます。その後、それぞれの教室において各児童が「行動プラン表」を作成します。これは、配付された教材により、学校を基点として中継地を經由し移動するための計画を立てていくもので、「徒歩」「自転車」「電車」「バス」「タクシー」を自由に利用して、それぞれの所要時間、費用、CO₂排出量を確認・計算し、自分が何を重視して行動するのかを考えさせ、班としてのプランをまとめ、発表するといった、子どもたちの主体性を重んじた学習内容となっています。

今後のTDM教育については、学校現場主体の取組みへの移行を図るため、先生方への事前研修をはじめとしたサポートを引き続き実施していきます。

また、TDM教育を毎年の授業のカリキュラムに取り入れていきたい意向を示している学校も出てきており、そうした通常授業としての実施によるTDM教育の定着を最終的な目標に、今後も取組みを進めていきたいと思っています。